

世の中の人は、なんとも言わば言え、わが為すことは、我のみぞ知る

「世の中の人は、なんとも言わば言え、わが為すことは、我のみぞ知る」

坂本竜馬

——自分の選んだ道を信じよう——

世間の人は、何とでも好きなように言えばよい。

自分のすることは、自分だけがわかっている。

薩長同盟を実現し、大政奉還の立役者となった坂本竜馬が詠んだ和歌である。

時代の先を読み、大きな理想を抱いて進んでゆくときには、それを理解しない者の批判や嘲笑が必ずある。

それを気にして萎縮してしまっては、思いを実現することは、出来ない。

自分を信じて、突き進もう。